

# 発達障害を有する学生の支援体制および支援方法に関する基礎的研究

山田 幸恵・中谷 敬明・佐藤 匡仁

近年、高等教育において発達障害を有する学生の存在がクローズアップされている。これまでは、高等教育機関に入学できる知的レベルを持つ学生には発達障害の問題はない、あるいは発達障害を有していたとしても大学生活において問題がないと思われていた。しかしながら近年、大学の学生相談に訪れる学生の問題の背景には発達障害がうたがわれるケースが増加している。

「大学の實力 教育力向上への取り組み」調査によると、調査に回答した大学の退学した学生の割合の平均は8.2%であり、40%を超える大学もあった（読売新聞教育取材班, 2009）。香川大学の調査では、全学生の1.2~2%が不登校の状態であり、うち6割が1年後に除籍・退学になっている（小柳, 1999）。大学・短期大学等の学生相談担当者を対象に行われた全国調査では、対象となった671校の約30%が発達障害の診断があるか、疑いのある学生の相談を受けており（国立特殊教育総合研究所, 2007）、障害によらず「対人関係のトラブル」「学業上の困難」が課題になっていることが示された。上智大学では心の健康度を診るテストを入学時に行い、発達障害の学生が新生入生に含まれることを示している。つまり、新生入生に一定の割合で発達障害が存在し、退学者との関連が予想される。

大学で問題を抱える学生は「〇〇障害」という診断基準では捉えることができない。しかし、診断基準を満たさないことと、問題がないことはイコールではない。発達障害を持つ学生は二次障害としての不安や抑うつといった症状を呈することが多いことも示されている。

大学は基本的に担任が個々の学生を把握するというシステムではない。発達障害を抱えた学生はそもそも人間関係の構築が困難であり、自発的に援助を求めることが得意ではない。そのために、学生相談を利用するといった自発的な相談行動に至りにくい。健康診断や基礎教育などの機会を有効に利用し、支援の必要な学生を見つけ、支援につなげることが大学に求められている。

発達障害を有する学生が存在することは、本学あるいは本学部においても十分に想定される。しかしながら本大学あるいは学部において支援体制は未整備の状態である。実際にそのような学生が存在した場合、早期に気がつくこと、またすばやく対応をすることが、学生個人のためにも望まれる。本研究では、大学において発達障害を有する学生への支援体制と支援方法について、次年度

以降本格的に取り組む準備として、日本学生支援機構の発達障害学生修学支援の取り組みや相談事例等の情報収集を行った。また、発達障害学生支援を先駆的に実施している大学の資料を取り寄せ、大学における相談体制について情報収集を行った。その上で、本学の既存システムを検討した。

大学における支援体制を整える上で教職員が、発達障害支援に関わる基本理念を共有することは必須である。大学が障害学生を受け入れることは、ノーマライゼーション社会の一環としての意義がある。そして修学のための本質的かつ具体的な支援が求められる。ここで大切なことは、特別なニーズがある障害学生には個別的な対応が必要になるが、この場合でも特別扱いは最小限にして、できるだけ一般の学生との共通の場で学修ができることが大切となる。成績評価のダブルスタンダードを設けないことは最も重要な点であろう。障害を理由に成績評価の基準を変えることは、障害学生への配慮のようであるが、学生の学びへの意識を委縮させるものであり、障害学生の将来を考えた場合に、彼らの能力の担保がされないことは却って彼らの不利になるのである。大学は、すべての学生に質の高い同一の教育を保証すること、また単位をとった学生の能力を保証する必要があるのである。

次に、支援体制であるが、支援には全学的な支援組織が必要とされる。そして、障害学生の履修に関して、全学の学生および教職員に対して基本方針を提示するとともに、教員へのコンサルテーションや、試験などでの実務、様々な支援のバックアップなどに重要な役割を持つ。障害学生にとっては、相談窓口が一元化されていることが大切であり、困ったことがある場合や、支援を受けたいときに、どこが窓口かが明らかであることは、安心して学生生活を送る上で重要となる。また、この組織を中心として学部等、各教育組織が主体的な関わりをもつことも不可欠である。その上で、全学組織には発達障害の知識が豊富な相談員が配置させることが望まれる。

本学においても、昨年度より障害学生の相談窓口が設立され支援体制が作られたものの、関連する教職員の発達障害支援の知識は十分ではなく、組織的な動きができるまでには至っていない。まずは、可能なことから支援をはじめ、徐々に支援体制等を改善する柔軟な姿勢が求められる。